

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結ぶ —

校長室だより No.2

“やさしく かしく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和3年4月23日 文責:安生昌弘 あんじょう あきひろ

◆ お弁当のお陰です!!

田村市学校給食センターの地震被害に伴う 2 月 16 日から約 2 カ月間に及ぶお弁当持参へのご協力について誠にありがとうございました。センターでは復旧工事が終わり、給食開始への準備をしているとのことですので、GW 明けの 5 月 6 日(木)から給食が開始される見込みです。朝早く起きてお弁当を準備し、子どもたちを送り出すのは大変な事だったろうと思います。長期間お世話になりました。

しかしながら、実は災いを転じて、学校では助かった点もあります。それは、1 年生の給食指導のことです。平成の初め頃まで、1 年生の給食は第 2 週目から開始にしていた程の一大事でした。入学式翌日からの給食指導は担任にとって、まさに戦場さながらです。(あまり良い例えではないですが…) 当番にエプロンを着せるのに一苦労、配膳をし始めると「先生、お玉がスープに入っちゃった!」、ようやく“いただきます”をすると、「先生、A ちゃんのご飯を床にこぼしました!」「先生、B ちゃんはニンジン嫌いなんだって。」といった具合で、1 年担任は、食べた気がしない時間となります。



今年の 4 月は様子が違いました。1 年教室に行くと、作ってもらった好物の詰まった可愛いお弁当箱を大事そうに持って、お利口に少しずつ食べていました。何とも平和で微笑ましい光景でした。お弁当を作る方には申し訳ありませんが、お弁当のお陰で、ゆとりのある 4 月の 1 年教室の昼時間が実現しました。

◆ まずは「あいさつ」が礼節の始まり

朝の子どもたちの登校の様子を見ておきますと、朝のあいさつが出来る子ばかりではありません。自分からあいさつしない子、^{うつむ}俯いて歩くだけの子、目が合わずにつぶやく子等、様々です。今、担任は教室で気持ちの良い「あいさつ」について指導をしています。学校であいさつ出来ても、町であいさつ出来なければ意味がありません。ご家庭内で子どもたちは、あいさつが出来ているでしょうか。ご家庭内でのあいさつの習慣が町や学校でのあいさつに生きてきます。学校と家庭の両方で「あいさつ運動」をすれば、効果があると期待しています。



※ あいさつ運動とは“あかるく いつでも さきに つづけて” あいさつしようという取組

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てていきたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。不定期で配付いたしますので、よろしくお願いします。